

## 平成 25 年度 第 2 回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成 25 年 12 月 23 日（月）午後 1 時 30 分から午後 5 時 30 分

■場所：姫宮神社、五社神社、郷土資料館会議室兼資料取扱室

出席者：島村圭一委員長、新井浩文委員、長谷川清一委員、岩上孔明委員、北村俊行委員  
吉羽秀男教育長、渡邊和夫課長、青木秀雄館長、河井伸一主査、横内美穂主任

### 会議次第

- 1 現地調査・視察
  - ① 姫宮神社本殿、古墳群
  - ② 五社神社拝殿俳額、句碑
  - ③ 郷土資料館特別展「西光院展」の見学
- 2 あいさつ
- 3 議題
  - (1)視察研修のまとめ

### 会議概要

- 現地調査・視察  
姫宮神社本殿、古墳群の見学。五社神社拝殿俳額の見学。句碑の見学
- 特別展「西光院～歴史と文化財」の見学
- 現地調査のまとめ（郷土資料館会議室）

### 調査経緯

- 役場前に集合。庁用車 2 台で姫宮神社に向かう。
  
- 姫宮神社見学
  - ・本殿の見学、八幡神社の古墳や周囲の見学
  - ・姫宮神社での見学終了後、五社神社へ向かう。
  
- 五社神社見学
  - ・連溪庵南枝の句碑の見学。拝殿内俳額の見学。終了後、郷土資料館へ向かう。
  
- 特別展「西光院～歴史と文化財」の見学。

### 会議録

あいさつ（吉羽教育長、島村委員長）

青木館長 島村委員長議事の方よろしくお願いたします。

島村委員長 それでは本日のまとめについてですが、本日見学頂いたテーマが俳諧関係ということですので、五社神社の句碑と俳額について、意見があればと思います。

岩上委員 俳諧の文化は宮代町を中心に栄えてきたとのことですが、宮代以外の所でこんなに俳諧の文化が盛んな地域はありますか

青木館長 天保2年に多少庵が江戸から百間に移りまして、俳諧が盛んになりましたが、それ以前も俳諧の文化はあったようで、詳しくは多少庵俳壇史に記載されています。しかし、本地域の俳諧の中心は百間と言えます。

島村委員長 俳諧の本地域での意味について考えた上で指定について検討頂ければと思います。

岩上委員 たしか、青連院にも俳額があったと思いますが。

横内主任 明治時代後半のものですね。若宮の分教場ができたことを記念して造られた俳額です。

岩上委員 多少庵の俳額ですか。多少庵関係でなくても貴重なものですね。

島村委員長 多少庵関係の俳額です。句碑の方は指定の方向で良いです。

一同 了承。

岩上委員 俳額は明治時代のもので指定にした方が良いのではないですか。

北村委員 姫宮神社の俳額は他の俳額とは趣が違う感じがします。

島村委員長 指定するにしてもしないにしても保存状態の話も重要だと思います。

長谷川委員 五社神社の俳額は前回見た時よりも痛んでいる感じがします。色が薄くなっているようです。

島村委員長 指定した後の話ですが、もちろん所蔵者の意向が重要ですが、保存場所の検討も必要です。

新井委員 姫宮神社の俳額は顔料も使っており、これ以上状態が悪くなると修復にも多額のお金がかかると思いますので、その辺も踏まえ郷土資料館で保存できるよう所有者を説得するのも良いと思います。五社神社の俳額についても同じで、必要であればパネル展示等をして、本物は郷土資料館で預かるのがベストだと思います。

青木館長 先ほどの新井委員の話ですが、姫宮神社の俳額については顔料は使っていません。墨書になります。なお、今回は前回の会議に基づき、姫宮神社の俳額と五社神社の句碑と俳額について資料を提出しました。

島村委員長 物としての俳額の保存の緊急性から2点が選ばれたものだと思いますが、多少庵関係の句集や聯、その他のものについてはどうかと。

青木館長 その他のものまで範囲を広げますとかなり広がりますので。

長谷川委員 春日部の場合では修理をするにあたり、市からの補助金を期待して指定文化財に指定して欲しいと言うことがありますので、指定の明確な基準を持たないと、何でも指定することになりますので気を付けた方が良いでしょう。

河井主査 前回の議事録を見てもと、一応、江戸期以前のものが対象となっています。そのため、五社神社の文政9年の俳額と姫宮神社の文化8年の俳額が対象になるということです。

新井委員 保存場所を含めて指定を考えた方が良いでしょう。姫宮神社の絵馬は郷土資料館で保管をしているのですか。

河井主査 姫宮神社の絵馬は3点が指定となっています。熊野詣、富士の巻狩り、富士講です。熊野詣は資料館で保管していますが、富士の巻狩り、富士講は姫宮神社の拝殿で保管されています。

新井委員 なぜ、1点のみ郷土資料館で保管しているのですか。

河井主査 熊野詣は当初、郷土資料館で展示していたためです。その後、レプリカを展示したため、収蔵庫で保管しています。

島村委員長 たしか、伊勢参宮の絵馬の状態が良くないため、郷土資料館で預かってますよね。俳額を預かることはできますか。

河井主査 宮司さんと話しをしてみないと分かりませんが、伊勢参宮の絵馬の時は理解を得て資料館で保存していますので、理解をしてくれるかもしれません。

青木館長 姫宮神社の拝殿は修理をしたことにより、以前より保管状態が良くなっています。また、絵馬の説明書き等もあり雰囲気は非常に良いと思います。

島村委員長 それでは、江戸時代の俳額2点は指定の方向で良いですか。

一同 了承。

島村委員長 それでは、事務局の方で次回の会議までに五社神社の句碑と俳額、姫宮神社の俳額について調書を提出してください。

河井主査 調書に特に記載した方が良いでしょう何かありますか。

新井委員 江戸時代のものであること。多少庵関係資料の中での位置や隆盛期のものであること。他にも関係資料があることだと思います。

島村委員長 それでは、他に何かありますか。本日視察をした感想でも良いでしょう。

岩上委員 それにしても姫宮神社周辺は景観が変わりましたよね。家が建つ予定ですか。

河井主査 複数の家が建つ予定です。現在、農地転用の手続きをしているようです。

長谷川委員 家を建てる前にきちんと発掘調査をする必要があります。

新井委員 以前、川島の庚申塔を指定したと思いますが、勝手に拓本を取ることなどの問題は発生していませんか。今回、句碑を指定する方向ですので。

横内主任 そのようなことはないです。

- 新井委員 管理者がいるところは良いのですが、管理者がいないところでは拓本禁止の看板も必要だと思います。
- 岩上委員 姫宮神社の参道の横に道があって住宅地になっていますが、あそこは元々は姫宮神社の土地だったのですか。
- 河井主査 姫宮神社の土地であったかは不明ですが、江戸時代は御林でした。その後も、住宅地が出来るまでは山林の地目であったようです。
- 島村委員長 それではこの辺で宜しいでしょうか。事務局にお返しします。
- 青木館長 それでは、以上をもちまして、平成25年度第2回文化財保護委員会を終了させていただきます。